

令和3年度

事業計画書
収支予算書

一般財団法人 札幌産業流通振興協会

一般財団法人 札幌産業流通振興協会

令和3年度事業計画

昭和59年6月、各界の期待を担ってオープンしたアクセスサッポロ（札幌流通総合会館）は、今年で37年目を迎えました。

この間、日本経済とそれを取り巻く環境の激しい変動を繰り返す中、さらには昨今のコロナ禍の状況下にあつて、総合展示場としての機能を発揮し、札幌市を中心とした北海道の流通・経済の発展に寄与する拠点としての役割を果たしてきました。

今後も当協会は、地場産業の振興と流通経済の発展という目的達成に貢献できるように、機能の充実と関係機関団体との連携を図っていくとともに、産業技術、情報発信、経済交流の拠点としてますます活用頂ける施設となるため、利便性の向上を図り、顧客満足度の増進に努めます。

また、引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図り、安心して施設をご利用頂けるよう取り組んでまいります。

1 産業流通振興事業

(1) 大展示場の使用日数は80%以上を目標とし、利用者の継続利用に努めるとともに新規の展示会、見本市等の開催及び誘致活動を推進

・札幌市をはじめ、日本イベント産業振興協会、全国展示場連絡協議会、日本展示会協会、日本イベント業務管理士協会等の関係機関との連携を深め、各種イベント情報の収集、情報交換を積極的に行い、首都圏で開催中の展示会の地方開催誘致活動を強化するなど利用促進を図る。

・市内の類似施設（札幌ドーム、札幌コンベンションセンター等）との情報交換を行い、施設間連携強化を図る。

・マスメディア等との共催による新規イベント構築。

(2) 各種イベント開催の相談業務及びイベントのサポートを推進

- ・相乗効果を目的とした異業種催事の同時開催の提案と仲介役を担うことにより、主催者の経費負担の縮小と来場者増のサポートを行う。
- ・より良いサービス提供を目指すため、他会場の展示会視察など知識の向上に努め、主催者への情報提供、提案などを強化するための職員実務研修、外部での研修会参加を機会に応じて行うことによりノウハウ・専門知識の向上を図る。
- ・イベント・コンベンション雑誌、当協会ホームページ等への催事開催情報掲載。
- ・イベント開催に関する各種申請業務のアドバイスとサポートを行う。

(3) 産業流通振興を目的とした異業種交流会（アクセス交流会）を開催 （年2回開催、各回 約200人）

- ・当協会利用者を中心に各業界の皆様のご支援を頂き、平成6年初開催以来アクセス交流会も現在52回を数え、令和3年度も情報交換と業界活性化の場を提供することを目的として開催。

(4) 展示会等の主催・共催

- ・市民生活向上のための情報提供や産業振興に寄与することを目的に、公益性の高いイベントを主催・共催する。
今年度実施する予定の詳細は下記のとおり。

① イベントランド北海道 2021 【6月開催】

道内で新たなイベントを企画・実施しようとしている企業を来場対象としたイベントアトラクション、ソフトを紹介する総合展示会。

② バイヤーズマーケット北海道 2021 【7月開催】

道内外から参集したバイヤーの方々による情報・意見交換や道内メーカー等とのマッチングを柱とした取り組みを展開し、魅力溢れる北海道ブランドの製品や技術を紹介することで販路開拓や販路拡大を創出するイベント。

③ こどものまち ミニさっぽろ 2021 【10月開催】

小学生を対象にした、働くことの楽しさや大切さ、世の中の仕組みなどを学ぶことができる職業体験イベント。札幌市、関係団体との共催で開催。

④ いきいき健康・福祉フェア 2021 【10月開催】

高齢者や障がいがある方々も元気に楽しく活躍できる社会の提案と北海道民が健康で安心して暮らせる地域福祉の実現に向けた取り組みを紹介するフェアを、国・道・市・福祉関連団体・マスコミとの共催で開催。

⑤ にぎわい市場さっぽろ 2021 【11月開催】

10年目の節目を迎えた2019年からタイトルを一新し、道産品の認知度を高めるとともに、消費拡大を図る北海道各地の農水畜産品や加工品など魅力ある地域特産品を展示販売することで、地域経済の活性化を図るイベントとして開催。

⑥ 2022 北海道モーターサイクルショウ 【3月開催】

北海道の二輪車業界の発展と普及に向けた活動として、交通安全運動や献血運動などの地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる北海道二輪車商業協同組合と共に、二輪車を通じて北海道の魅力を紹介するためのイベント。

2 施設管理、運營業務

- (1) 会館の維持管理のため、建物の修繕及び設備の更新を計画的に実施
- (2) 新型コロナウイルス感染防止対策の取組を万全に行う。

3 広報、PR 活動

- (1) 2020年に刷新した当協会ホームページを活用し、利用者や来場者へのイベント案内、施設の利用案内などの情報提供の充実を図る。

令和3年度収支予算書（正味財産増減計算書）

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	【 100,000 】	【 100,000 】	【 0 】
事業収益	【 205,500,000 】	【 228,500,000 】	【 △ 23,000,000 】
受取負担金	【 19,000,000 】	【 20,000,000 】	【 △ 1,000,000 】
雑収益	【 600,000 】	【 600,000 】	【 0 】
経常収益計	225,200,000	249,200,000	△ 24,000,000
(2) 経常費用			
事業費	【 207,130,000 】	【 208,880,000 】	【 △ 1,750,000 】
管理費	【 85,770,000 】	【 86,520,000 】	【 △ 750,000 】
経常費用計	292,900,000	295,400,000	△ 2,500,000
当期経常増減額	△ 67,700,000	△ 46,200,000	△ 21,500,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引き前当期一般正味財産増減額	△ 67,700,000	△ 46,200,000	△ 21,500,000
当期一般正味財産増減額	△ 67,700,000	△ 46,200,000	△ 21,500,000
一般正味財産期首残高	1,280,000,000	1,380,000,000	
一般正味財産期末残高	1,212,300,000	1,333,800,000	
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	
III 正味財産期末残高	1,262,300,000	1,383,800,000	